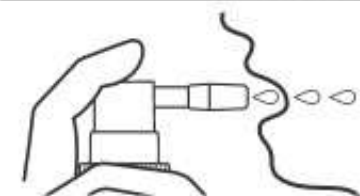


使用方法

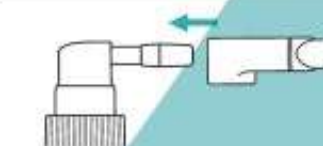


※最初は薬液が出るまで4～5回押してください。

※薬液がノズルの先端にたまった時は、液だれを防ぐため清潔なティッシュペーパー等で拭き取ってください。

※温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなることがあります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。

③使用後は、フタをもとの位置にはめてください。



④使用後は、フタをもとの位置にはめてください。



ノズルの先端を針等で突くと薬液が出にくくなったり、折れた時大変危険です。絶対におやめください。



口腔咽喉薬 第3類医薬品

のどの炎症による つらいのどの 痛み・はれに のどスプレー

殺菌成分配合

ポビドンヨード

ディアポピー

30mL



第3類医薬品

ディアポピー

のどの炎症によるのどあれ・
のどの痛み・のどのはれ・
のどの不快感・声がれ

成分・分量 (100mL中)

ポビドンヨード 0.45g

添加物としてヨウ化カリウム、ℓ-メントール、還元麦芽糖水アメ、グリセリン、プロピレングリコール、エタノール、サッカリンナトリウム水和物、香料を含有する。

〈成分・分量に関する注意〉
本剤の使用により、銀を含有する歯科材料(義歯等)が変色することがあります。

保管及び取り扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる場合があります。)(4)薬液が衣服等に付着すると着色します。付着した場合はすぐに水でよく洗い落としてください。(5)ノズルの先端の穴を針等で突かないでください。使用時に薬液が出にくくなることがあります。(6)使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。(7)温度の低い場所で保管された場合、薬液が出にくくなる場合があります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。(8)火気に近づけないでください。

発売元:白金製薬株式会社

〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515

お客様相談室 TEL:0744-21-5588

受付時間9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元:ダイヤ製薬株式会社

〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515

副作用救済制度 ☎0120-149-931



外装フィルム:PP

開封口

第3類
医薬品

販売名:ディアポピー

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

△使用上の注意

⊗してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)
1. 次の人は使用しないでください。本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 長期連用しないでください。

■相談すること

1. 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(3) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害。
(4) 次の症状のある人。口内のひどいだれ。(5) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(6) 授乳中の人。
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
口	あれ、しみる、灼熱感、刺激感
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気
そ の 他	不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診断を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、 声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦 しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3.5～6日間使用しても症状がよくならない場合は、
使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、
薬剤師又は登録販売者に相談してください。

用法・用量

1日数回適量をのどの粘膜面に噴射塗布してください。

〈用法・用量に関する注意〉(1)定められた用法・用量を守ってください。
(2)息を吸いながら使用すると、薬液が気管支や肺に入ることがありますので、ノズルを患部にむけて、軽く息をはきながら、2～3回直射してください。
(3)本剤はのどの患部への噴射塗布だけに使用し、傷ややけどへの使用や、内服はしないでください。
(4)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
(5)目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診断を受けてください。